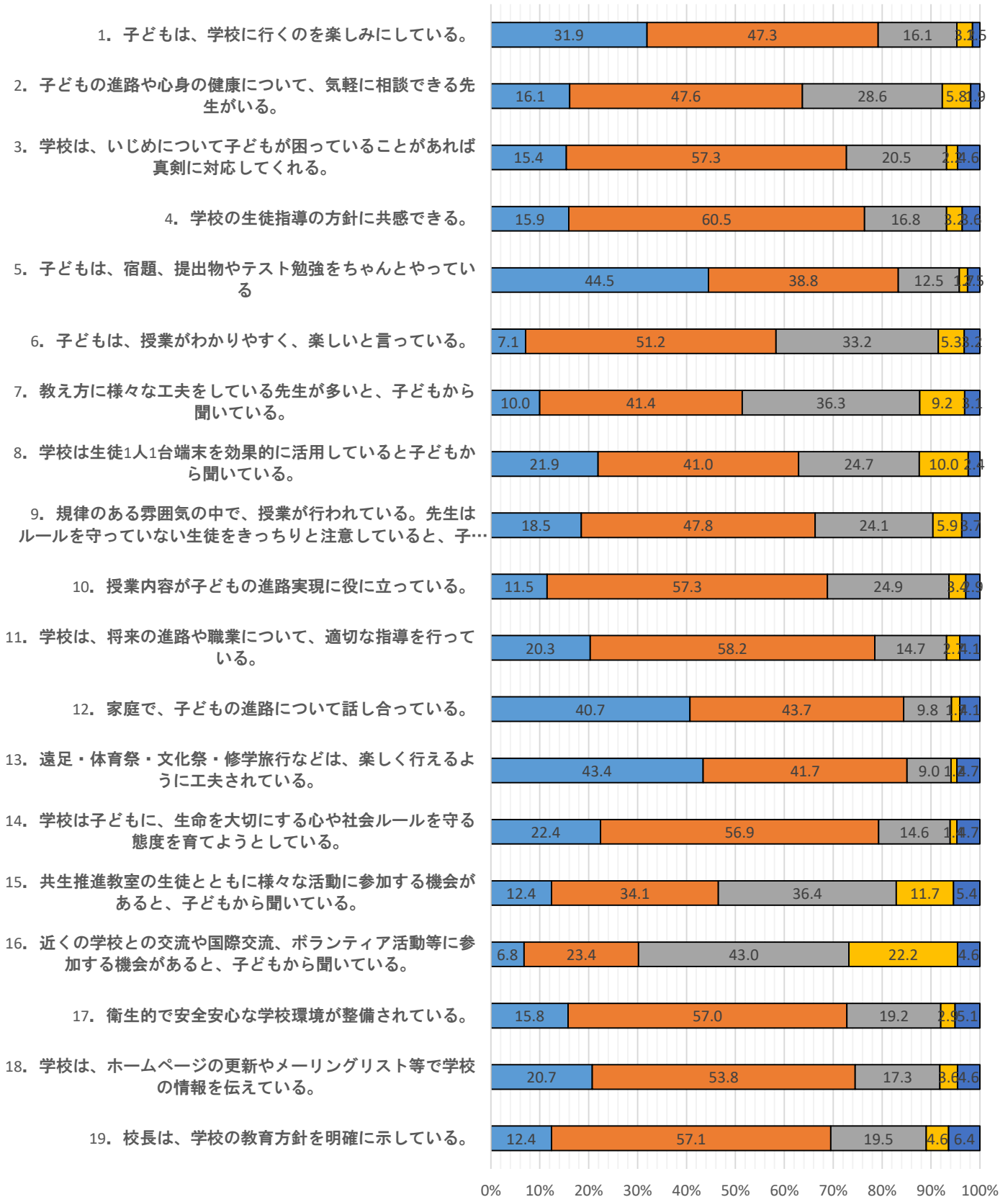
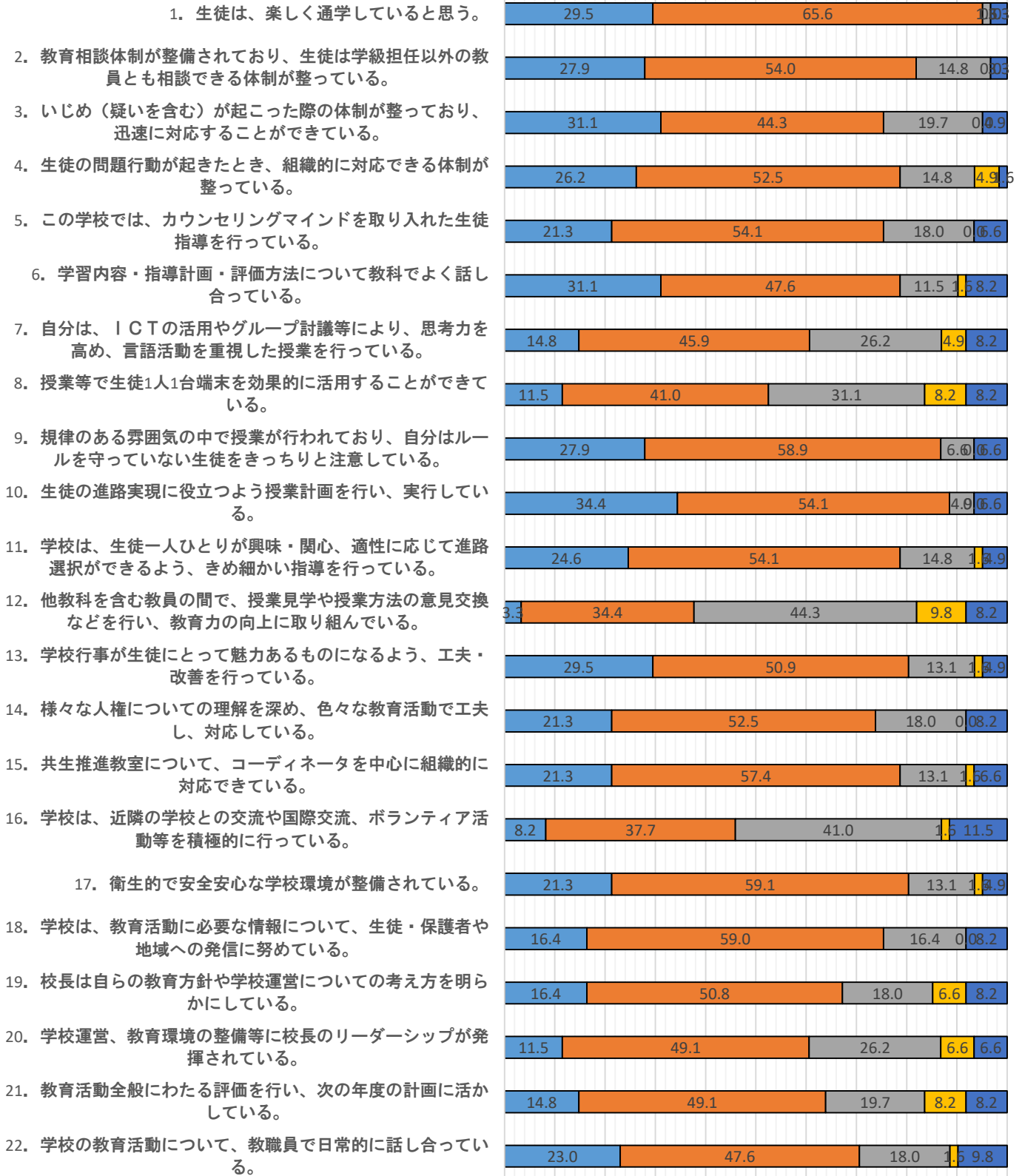


■よくあてはまる ■ややあてはまる ■あまりあてはまらない ■全くあてはまらない ■回答なし



■よくあてはまる ■ややあてはまる ■あまりあてはまらない ■全くあてはまらない ■回答なし



0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

令和4年度学校教育自己診断（分析と対策）

学校教育自己診断の結果と分析[令和4年12月実施]

1. 生徒・保護者とも肯定的回答が上昇している項目

「13. 遠足・体育祭・文化祭・修学旅行などは、楽しく行えるように工夫されている。」

生徒
昨年度85.1% → 本年度92.3%

保護者
昨年度79.5% → 本年度85.1%

2. 1以外で生徒または保護者で肯定的回答が80%以上の項目

「1. 学校に行くのが楽しい。」

生徒
昨年度82.1% → 本年度82.9%

保護者
昨年度82.9% → 本年度79.2%

「3. 先生は、いじめについて私たちが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。」

生徒
昨年度87.5% → 本年度84.9%

保護者
昨年度74.9% → 本年度72.7%

「7. 教え方に様々な工夫をしている先生が多い。」

生徒
昨年度92.5% → 本年度94.7%

保護者
昨年度53.6% → 本年度51.5%

「11. 将来の進路や生き方について、情報を得たり考えたりする機会がある。」

生徒
昨年度87.2% → 本年度84.6%

保護者
昨年度81.1% → 本年度78.4%

「14. 命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある。」

生徒
昨年度86.1% → 本年度84.6%

保護者
昨年度82.4% → 本年度79.3%

3. 教職員で肯定的回答が昨年比10%以上、上昇した項目

該当なし

4. 昨年度より生徒または保護者の肯定的回答が大きく下降した項目

「2. 担任の先生以外にも気軽に相談できる先生がいる。」

生徒
昨年度68.2% → 本年度68.4%

保護者
昨年度69.8% → 本年度63.7%

「4. 学校生活についての先生の指導には納得できる。」

生徒
昨年度70.1% → 本年度67.6%

保護者
昨年度80.7% → 本年度76.4%

「18. 学校は、ホームページの更新やメーリングリスト等で学校の情報を伝えている。」

生徒
昨年度87.7% → 本年度77.9%

保護者
昨年度89.1% → 本年度74.6%

5. 分析と対策

※ 行事については、従来の形式で実施できたことが大きい。2年ぶりに保護者も行事に参加できたことが結果につながった。

「学校に行くのが楽しい」（生徒肯定82.9/保護者肯定89.2）、「遠足・体育祭・文化祭・修学旅行など楽しく行われるよう工夫されている」（生徒肯定92.3/保護者85.1）について、生徒、保護者ともに、昨年度より肯定的評価が増加した。

※ 授業については、工夫されているとの回答が多く（生徒肯定94.7）、ICT活用を取り入れた授業は日々更新されており、生徒一人一台端末（Chrome book）を取り入れた授業も進んでいる。

また、「授業がわかりやすく楽しい」（生徒肯定71.5/保護者肯定58.3）についても、生徒、保護者ともに、昨年度より肯定的評価が増加した。

※ 上記のように、授業、行事等の学校生活の充実が、「学校に行くのが楽しい」（生徒肯定82.9/保護者肯定89.2）について、生徒、保護者ともに、昨年度より肯定的評価が増加することにつながったと考える。

※ 「授業内容が進路実現に役立つ」の肯定的評価は（生徒75.3/保護者68.8/教職員88.5）である。また、望む授業については、保護者、教職員は「知識より人間性、社会性を養う」、生徒は「生徒に応じた授業レベル、スピード」をもっとも重視している。しかしながら、教職員が望む授業としては、昨年度と比べ、「生徒に応じた授業レベル、スピード」が増加（+13.7）、「進路希望を実現できる学力を高める」が減少している（-13.5）。このことから、進路実現に役立つ授業を行っているが、昨年と比べると、進路実現に必要な授業レベルよりも生徒のニーズに応じた授業レベルとスピードを重視する割合が増えたと考えられる。今後、生徒のニーズに合わせて、それが進路実現に必要な授業レベルとなるよう工夫が必要と考える。

※ 記述式アンケートでは、感謝のコメントが多数見受けられる一方で、「子どもとの会話があまりないので、学校の様子がありません」、「部活動がメインになりすぎて、学校や授業のことをあまり把握できておりません」などの内容のものも少なからずあり、学校の情報をもっと工夫して発信する必要があると考える。また、他にも貴重なご意見をいただいております。全教職員で協力して改善への取り組みが必要であると考えます。